

8/14  
TUE

# 第48回鳥取しゃんしゃん祭 一斉傘踊り

まちがどい  
アールバム



踊り子のみなさま、大変お疲れさまでした。



## 砂丘ビーチ砂もり大会

福部町湯山

8月5日(日)、平成元年から毎年行われている「砂丘砂もり大会」が行われました。直径3径の輪の中に20分で砂を積み上げ斜辺の長さを競うこの競技に、市内外から58チームが参加。体全体を使ってブルドーザーのように砂を運んだり、海水を用いて砂を固めたりと、それぞれが工夫をしながら優勝めざしてひたすら砂をもちました。中には、山の周りを掘って高さを稼ぐ裏技も。「初めて参加したけど楽しくできました」と、参加者は童心にかえったひとときを振り返っていました。この日の最高記録は133センチでした。

## 商店街を歩いて魅力を発見

栄町

7月28日(土)、鳥取駅前商店街で、使わなくなったおもちゃをポイントに換え、ポイントを使って別のおもちゃと交換する「かえっこバザール」が行われ、多くの親子連れが訪れました。イベントでは、駅前商店街のお店を回り、課題をクリアするとポイントが貯まるため、子どもたちは目当てのおもちゃを手に入れるために元気がよく挑戦。ふるさと物産館では、「一番人気の商品は？」などの問いに答えるため、店内にあるヒントを一生懸命探しました。見事クリアしポイントが増えるたびに笑顔も増えていきました。



## 伝説と民話の地を巡る

気高町

7月30日(月)、気高図書館主催のバスツアー「気高町の伝説と民話をたずねて」が行われました。郷土研究家の解説を聞きながら、地元で伝わる殿集落の「さくら姫物語」、勝見集落の「鷲の湯」、酒津集落の「漁観音」など、伝説の舞台となった地を巡りました。

この日は、9歳から81歳までの18人が参加し、海から発見された「漁観音」などを実際に見学すると、「こんなに興味深い伝説が地元にあったなんて」と感嘆。「伝説の時期や背景など、具体的に分かりやすかった」と、ツアーは大変好評でした。



## 鳴り砂の浜で楽しい一日

青谷町井手

8月4日(土)、日本有数の鳴り砂の浜として知られる青谷町の井手ヶ浜海岸で、「あおや鳴り砂ビーチフェスタ」が開かれました。市内外から小学生やその保護者など約70人が参加。全員で海岸のゴミ拾いをしたあと、サーフィンスクールや磯の生きものしらべ、ビーチサッカー、ポニーに乗っての散歩などを楽しみました。このうち、サーフィンにチャレンジした子どもは、何度も繰り返し練習するうちに、見事ボードの上に立つことができて大満足。子どもたちは、大自然の中で、真夏のひとときを満喫しました。



## ふるさとの資源を大切に

河原町北村

7月29日(日)、河原町北村にある標高1053mの山「高山」の周辺整備活動が行われました。活動には、北村・村づくり実行委員会と、いなば西郷むらづくり協議会のみなさんを中心に約60人が参加。登山道の整備や山頂整備などに取り組みました。この活動は去年から始まり、今年で2回目。この日は、登山道を登りやすくするために枕木を埋めたり、草刈り機やチェーンソーで草木を切って通りやすくしたりと、みなさんが「ふるさと北村の資源を大切にしたい」という思いを持って、作業に汗を流しました。



## 泥んこになったけど、気持ちはずっきり!!

国府町楠城

7月31日(火)、国府町楠城地域にある「ふるさと広場」で、市内の子どもたちがボランティア活動を行いました。これは、本市の児童館を利用する小学校4年生を対象に、団体活動を通して自主性・社会性などを身につけることを目的に行われたものです。今年はその取り組みとして、広場の親水池の清掃を実施。水を抜いた池の中には、冬の間に溜まった泥がいっぱいでしたが、子どもたちが泥んこになりましたが、根気よくデッキブラシなどで池を磨きました。作業後には、汚れと一緒に気持ちもズッキリきれいになりました。